

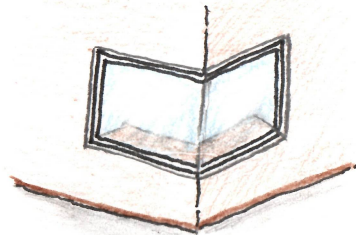
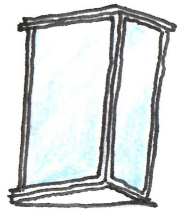
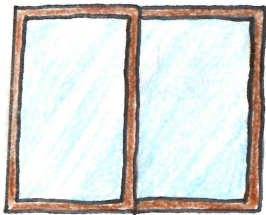
そぞろみ部 (山形編)

そぞろみ部とは、そぞろ歩きながら身のまわりのあれやこれやを観察し、暮らしの中で出合ういろいろな場面を造形的にとらえ直す部活動です。今日はそのエッセンスを追体験していきます。

① そぞろみるテーマ

テーマ **窓**

② そぞろ歩きながらいろいろ観察してみましょう。



よくある窓

普通の家にある一般的な窓。窓枠が田の字型だったり、網戸がついていたり、色などで個性を出している。

三角出窓

三角柱の形をした出窓。ちょっと古めのアパートや家で見つけやすい。

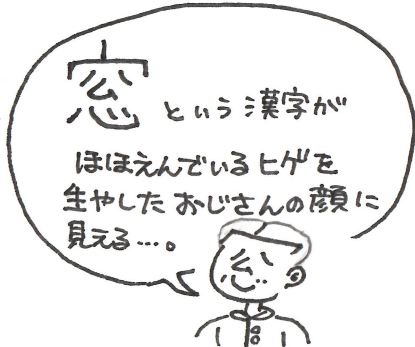
かど窓

建物の角を利用した広めの窓。ウインドウディスプレイに使われやすい。お店や家で見つけやすい。



スタイリッシュ窓/小窓

細長く、小さめの窓。新築や新しめの家で見つけやすい。最近流行している窓なのかとわからない。



③ そぞろみポイントを3つ見つけてみましょう。

そぞろみポイント一

見る・魅せる・見られる

窓は建物の中と外の景色を繋ぐ建具であり、中の人(たまに猫)と外の人がお互いに「見ること」を意識する場所でもある。そのためか窓の形は一軒一軒デザインされていて、窓際には花や小物たちが「見られるため」に置かれていることがある。

そぞろみポイント二

窓の群れに注目

一つの建物には大抵複数の窓が付いている。高層建物になればなるほど、数えたくない量の同じ窓が並んでいる。しかし、よくよく見てみると、ポスターが貼られたり、ブラインドの閉まり具合が違っていたりと各々の個性を覗かしていた。

そぞろみポイント三

これも窓ですか？

駅前のビル群を眺めていると、一棟の古いビルが気になった。2階の窓の列の右端にガラス張りのドアが一枚平然と取り付けられてあった。人が出入りできない高さに取り付けられたドアは、いつか窓の役割を任されて、ここにいるのだろうか。窓のようなものを探してみるのも面白い。

そぞろみ部 (山形編)

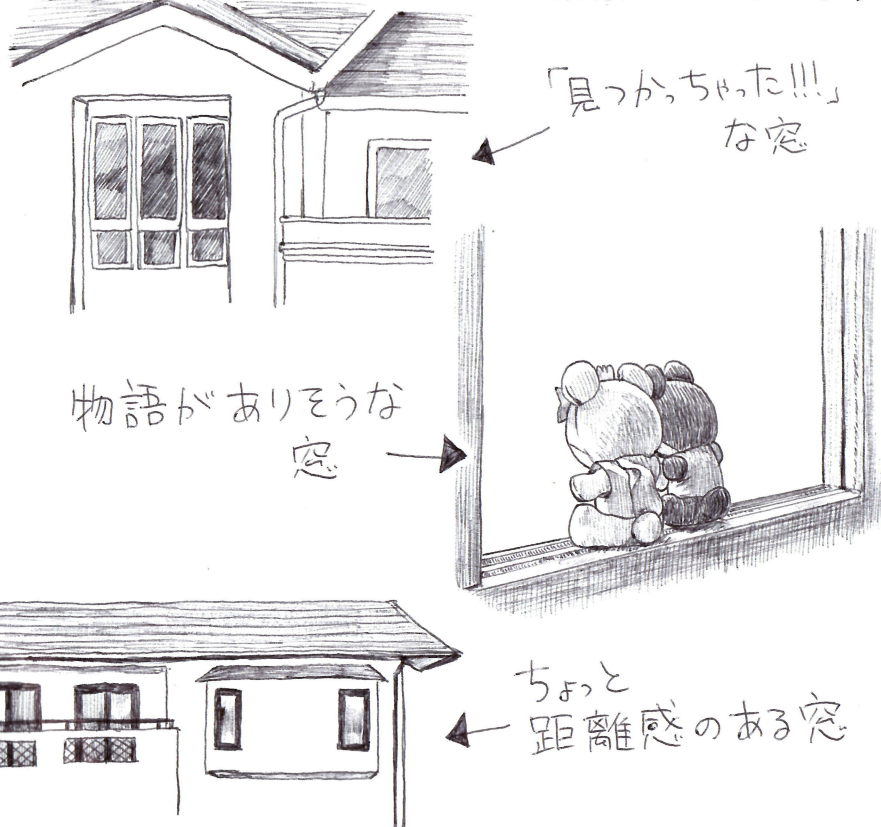
そぞろみ部とは、そぞろ歩きながら身のまわりのあれやこれやを観察し、暮らしの中で出会ういろいろな場面を造形的にとらえ直す部活動です。今日はそのエッセンスを追体験していきます。

① そぞろみるテーマ

テーマ

窓

② そぞろ歩きながらいろいろ観察してみましょう。



③ そぞろみポイントを3つ見つけてみましょう。

そぞろみポイント一

家の構造のナゾ

窓のつき方もいろいろだ。まっすぐに並んでいる窓もあるけど、なぜか一つだけ外れた位置の窓もある。家の内側から見ると、あの窓はどんな場所にあるのだろうか。どんな構造の家なんだろう。と想像が膨らむ。

そぞろみポイント二

窓際で感じる生活

それは出発してすぐ見つけた。網戸に虫除けグッズがついている。別の家の小さい窓には牛乳パックと食器。また別の家では子供用の遊具。またまた別の家ではたくさんの洗剤。私はよその家の「ちょっとした雑さ」が感じられるものが好きだ。

そぞろみポイント三

窓らしきもの

建築以外にも窓らしきものはある。風景を切り取るという点では、神社の木の根に見つけた隙間もその一つ。しゃがんで見てみると、ちらりと境内が見える。「一般人の目に見えないものが見えるのでは」というちょっとした怖さと淡い期待を抱いた。

そぞろみ部 (山形編)

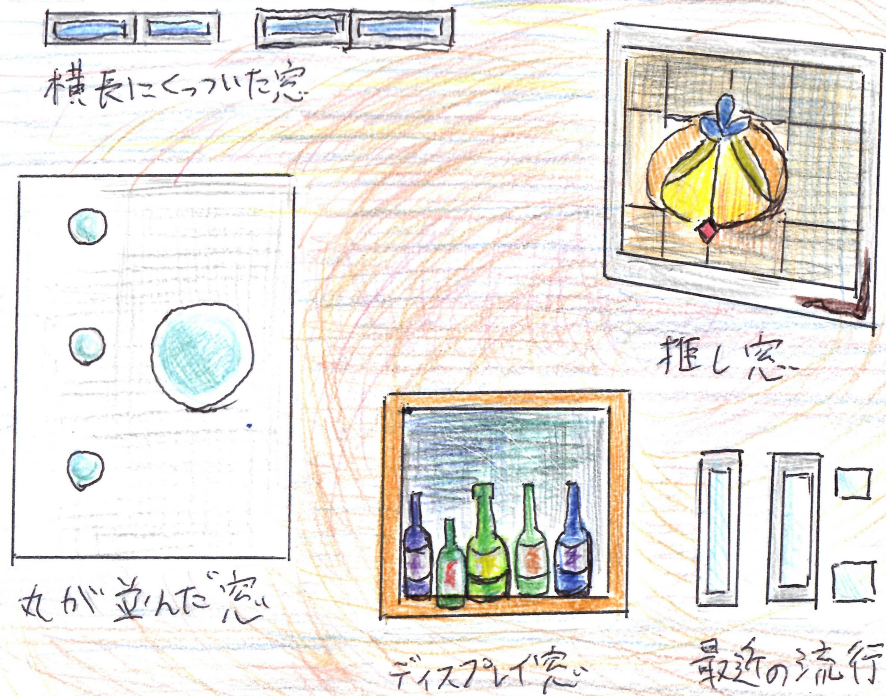
そぞろみ部とは、そぞろ歩きながら身のまわりのあれやこれやを観察し、暮らしの中で出合ういろいろな場面を造形的にとらえ直す部活動です。今日はそのエッセンスを追体験していきます。

① そぞろみるテーマ

テーマ

窓

② そぞろ歩きながらいろいろ観察してみましょう。



③ そぞろみポイントを3つ見つけてみましょう。

そぞろみポイント一

光を生かした金盞賞窓

これは散歩中に見つけたあるお店のスタンドガラスが入った窓で、目的の推し窓である。この窓は外からの景色を見る本来の窓の機能はないが、外の光を通すことで内側から見るとよりきれいに見える金盞賞のための窓で、室内の雰囲気をひき立ててくれる。今回のスタンドガラスは柿をモチーフにしたような模様になっていた。もし、スタンドガラスが入った窓を見つけた時は模様が何をモチーフにしていのか考えてみるのも楽しいかもしれない。

そぞろみポイント二

窓の形から見る流行

山形には古くからある家や新しく建てた家まで様々な窓が建てられており、デザインを見ていくと時代ごとに流行していた窓の形を比較しながら見ることが出来る。丸い窓、ガラスが格子状の窓、格子の入った窓、大小様々で大きさや同じ形が連続して並んでいる窓など、窓というも様々なデザインがあることに気づいた。ちなみに今の流行は細い縦長の窓である。

そぞろみポイント三

こだわりを感じるディスプレイ窓

これは散歩中にいくつか見つけた窓なのだが、外側に出っ張っている窓などに多く見られるもので、フィギュアやトロフィー、好きなキャラクターのグッズやカーテンなどが外から見えるように作られており、住んでいる人のこだわりや好きを知ることが出来る。これがきっかけで近所の人と仲良くなるきっかけが生まれたりしそうだ。これらの窓を見ながら思った。

そぞろみ部 (山形編)

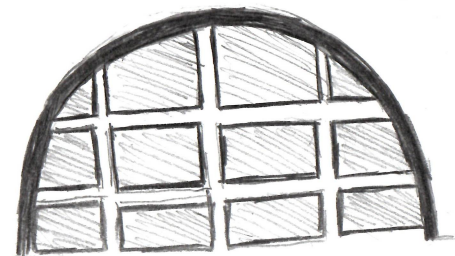
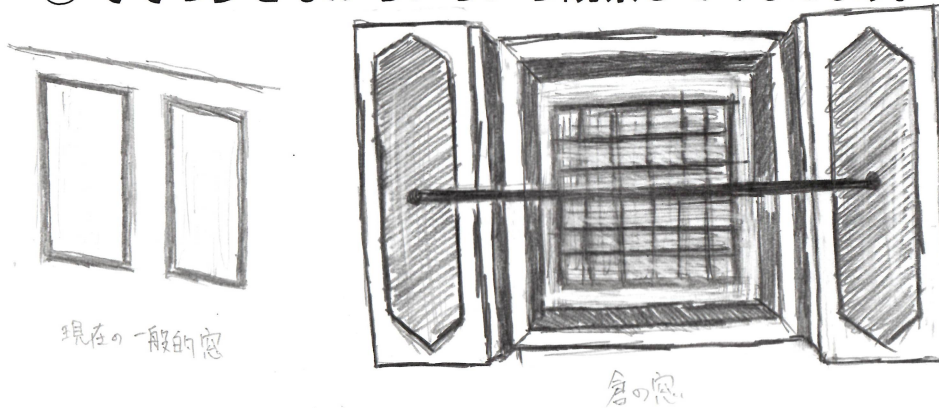
そぞろみ部とは、そぞろ歩きながら身のまわりのあれやこれやを観察し、暮らしの中で出会ういろいろな場面を造形的にとらえ直す部活動です。今日はそのエッセンスを追体験していきます。

① そぞろみるテーマ

テーマ

窓

② そぞろ歩きながらいろいろ観察してみよう。



かまぼこ!?

③ そぞろみポイントを3つ見つけてみましょう。

そぞろみポイント一

時代を感じる窓

格子がかかった昔ながらの蔵の窓や、少し飛び出た形の窓、縦や横に細長い窓など、1つの町を歩くだけでも時代に沿って作られた窓が違う

そぞろみポイント二

印象の変わる窓

窓の形が同じものでも、家の外壁の色や、窓枠の色、材質などで見て取れる印象が異なる

そぞろみポイント三

ユニークな模様、形の“見せる窓”

屋根付近の窓は、屋根の形に合わせて形を変える。
また、ステンドグラスや、シールを内側から貼るなどしてカラフルな模様を演出した窓もある。
このような“見せる窓”、と言えるような窓がみかけられた。

そぞろみ部 (山形編)

そぞろみ部とは、そぞろ歩きながら身のまわりのあれやこれやを観察し、暮らしの中で出合ういろいろな場面を造形的にとらえ直す部活動です。今日はそのエッセンスを追体験していきます。

① そぞろみるテーマ

テーマ

窓

② そぞろ歩きながらいろいろ観察してみましょう。



③ そぞろみポイントを3つ見つけてみましょう。

そぞろみポイント一

地域による違い

新しい建物が多、芸工大周辺は最近の住宅に多い軒延長の窓の住宅が集合している。少し下りた所は窓枠の突き出た窓が多く見られることから住宅地がどのくらい古い年に出来たかを推測できる。

そぞろみポイント二

家具が見える窓

少し視線を上げて建物の大きな窓から中をのぞくと多くの家具が見える。交差点に面しているのび信号が止まったときにどの方向からでも見る事が出来る。

そぞろみポイント三

2層になっているベランダ

山形という雪が多、地域なのでベランダの外側に一枚の窓のようなもので寒さをしのげるようになっている。